東小だより

＊一人ひとりが輝く学校

大阪狭山市立東小学校　　Ｎｏ．３３１
平成３０年　３月　１日
TEL　072－365-0044　FAX 072-365-0045
Mail:higashies@osakasayama.ed.jp
HP:http//higashi-es.osakasayama.ed.jp/

必要とされること

校長　鈴木　康子

寒さも随分とやわらぎ、太陽の温かい日差しの中に早春を感じる頃となりました。月日がたつのは早いといいますが、もう３月を迎えます。今年度もあと１ヶ月です。

１年生から５年生は、卒業生を送るための準備を着々と進めています。６年生は卒業までの残りの日々を一日一日大切に過ごしています。この伝統ある東小学校から胸を張って堂々と卒業していってほしいと願っていますし、自信を持って中学校に送り出したいと思っています。

さて、図書室に「マザー・テレサ」の生き方についての本があります。このお話の中に、**「この世の不幸は、貧しさや病ではありません。誰からも相手にされず、自分は必要とされていないと感じることです。」**と言う有名な言葉があります。**「自分が好き」**と言う自己肯定感や、**「自分は必要とされている」**と感じられる自己有用感は、とっても大切なことで、子どもたちがこれからの長い人生を生きるうえでなくてはならないものです。

何かができたとき、うまくいったときには本気で褒める。これが自尊感情を高め、「私って、こんな良いところがあるんだ」「僕もできるんだ」という自信が貯金となり、これからの成長につながると考えます。どの子も、どの学年でも、それぞれの成長があります。この成長を認め、褒めていくことが次への学びにつながります。

３学期には、学習発表会や授業参観、親子の集いなどの行事がたくさんありました。子ども達は、保護者の皆様に学校でのがんばりや成長を見ていただきたいと、一生懸命に頑張りました。　参観いただいた後には、きっと子ども達への感想やお褒めの言葉がたくさんあったものと思います。子どもたちの成長を素直に喜んでください。そして、「あなたがいてくれて、よかった。」と伝えてあげてください。

卒業や進級まで後わずか。６年生は中学校生活への希望と期待で胸を弾ませていることでしょう。東小で身につけたがんばる力や思いやりの心などを生かし、中学校でもいろんなことに挑戦してください。

５年生は、最近の学習・生活の中で、最高学年としての自覚や責任感が育ってきています。在校生を代表して参加する卒業式では、6 年生から手渡されるバトンをしっかりと受け取り、東小の伝統や良いところを引き継いでいってくれることを期待しています。

あいさつ標語入賞者の作品

おはようの　その一言で
がんばれる
３年４組　　大野　夢奈

おはようで　あの子が
元気か　わかるんだ
４年４組　光成　文貴